

# 新人看護職員研修ガイドラインの目的

## 目的

新人看護職員が基本的な臨床実践能力を獲得するため、医療機関等の機能や規模にかかわらず、**新人看護職員を迎えるすべての医療機関等で新人看護職員研修が実施される体制が整備されることを目指してガイドラインが作成されました。**(※)

なお、新人保健師については、多様な分野で就労していること等による研修体制の多様性に加え、研修内容についても保健師特有のものがあることから、新人保健師に求められる内容を中心に、**新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～**を作成しています。

※新人看護職員研修に関する検討会(平成21年4月～平成23年2月)において作成

# 新人看護職員研修ガイドラインの構成と使い方

本ガイドラインは、各医療機関で研修を実施する際に必要となる事項を記載しています。新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方ははじめ、新人看護職員研修の効果を上げるために必要な指導者の育成についても示しています。

本ガイドラインでは、新人看護職員の到達目標として一年以内に到達を目指す項目とその到達の目安を示しています。研修体制や研修方法は、各医療機関の特性、研修に対する考え方、職員の構成等に合わせた行うことを前提としていることから例示としています。また、研修プログラムの例と技術指導の例をあくまでも参考と示しております。

各医療機関においては、新人看護職員研修を施設内だけでなく、周りの資源を十分に活用し、新人看護職員の到達目標に合わせて研修を自由に組み合わせて実施していただきたいと考えています。

## 〈 新人看護職員研修ガイドラインの概要 〉

- I. 新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方
- II. 新人看護職員研修
- III. 実地指導者の育成
- IV. 教育担当者の育成
- V. 研修計画、研修体制の評価

1. 研修内容と到達目標
2. 研修方法
3. 研修評価
4. 研修手帳の活用
5. 研修プログラムの例
6. 技術指導の例